



宮崎市立小戸小学校 4年生

景観教室レポート



「景観（けいかん）」とは、海、山、川などの自然、建物、道路など、私たちが目にするまちなみの姿です。また、まちなみの雰囲気や文化・歴史など、心に残るものも景観です。

小戸小学校では、平成24年7・9・10月に、(社)宮崎県建築士会の皆さんの協力のもと、4年生（63名）を対象とした景観教室を計3回おこないました。景観を学ぶことで自分たちのまちについて知り、将来のまちなみの姿について考えました。

第1回「景観を知る」 7月12日（木）1・2時間目

■ 景観に関する基本的な学習

前半は「景観とは何？」という内容で建築士会の福添さんより、景観についての基礎的な授業が行われました。

★授業のポイント

景観をつくっているもの： 自然・建築物・看板・産業（農業や工業）・芸術・歴史・・・



建築物（県庁本館）



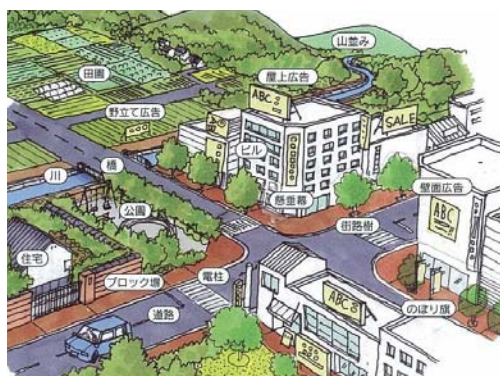
自然・道路（ヤシの並木道）



産業（田野町の大根やぐら）

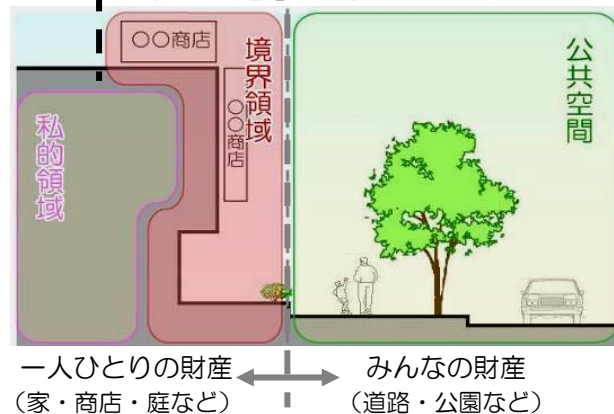


歴史（高岡町の石垣と武家門）



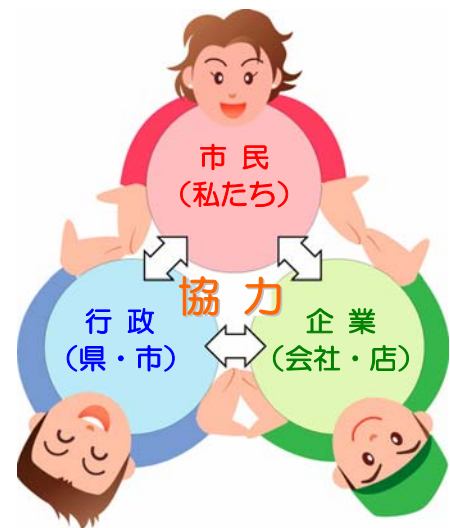
まちにはどのようなものがある？

景観では、みんなの空間
（道路から見えるはんい）



景観 = みんなの宝もの

- ・ まちの顔・特色
- ・ みんなで力をあわせてつくるもの・・・まもるもの



授業をしていただく建築士会の福添さん



景観クイズでみんな元気に答えています。

■ マインドマップづくり

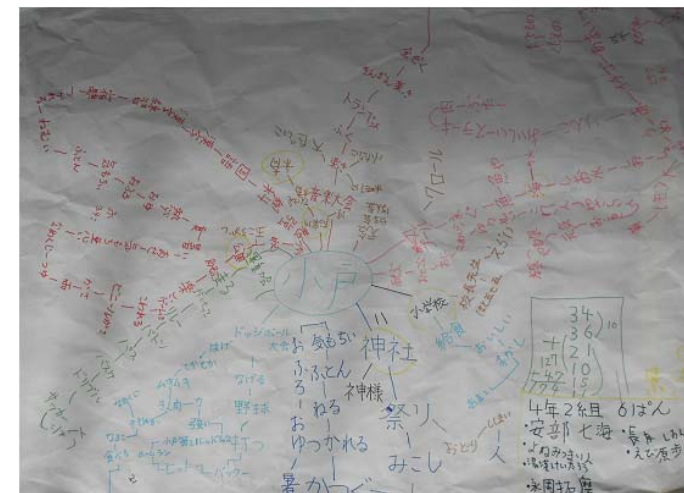
後半は、「マインドマップ（連想図）」づくりです。マインドとは「心」、マップは「地図」。つまり、小戸について心の中で思っている言葉を地図のように自由に書いて、小戸のイメージをふくらませます。その結果、各班60～250個くらいの言葉を書き出してもらいました。そして、たくさんの言葉の中から、「これぞ小戸」という言葉を各班1個ずつえらんでもらいました。



みんな、がんばってどんどん書いています！！



班ごとの発表



出来上がったマインドマップ。「小戸」で思いつく言葉をたくさん書いてもらいました！
小戸といえば・・・大淀川、小戸神社、小松川、県病院・・・

第2回「景観を調べる」 9月27日（木）3・4時間目

■ 「景観探検隊」のまち歩き調査

景観教室、第2回目はまち歩きです。いつも見慣れている小学校周辺のまちなみを観察し、「良い景観、小戸らしい、宮崎らしい景観」を探しました。建築士会の皆さんと一緒に楽しく調査した結果、これまで気づくことのなかった新たな発見がたくさんありました。

★まち歩きの目的

- ・ 心に残っている景観を実際に見なおしてみよう。
- ・ 見なおした景観を地図の上に整理してみよう。

★景観探検隊

- ・ 隊長：探検調査の責任者（福添さん）
- ・ 班長：班の責任者（児童）
- ・ 顧問：道案内とカメラ（大人）
- ・ 調査員：メンバー全員 心に残る景観をチェック



まち歩きの様子。まちの人たちや自然ともふれあい、楽しいまち歩きとなりました。まち歩きの後は、班ごとに気付いたことをまとめて発表しました。

★まち歩きで見つけた色々な景観



小松川 小戸神社の参道 こま犬 (神属の霊獣) 大淀川

★まち歩きのみとめ①

まず、「良い景観、小戸らしい、宮崎らしい景観」を選び記入していきました。



★まち歩きのみとめ②

そしてその中から「きれいな景観、かっこいい景観」「小戸、宮崎らしい景観」を選びみんなで発表しました。

キーワードには、「静かな〇〇」や「きらきらした〇〇」「狭い〇〇」など表現豊かに発表してくれました。

発表してくれたものの一部を紹介します。



景観教室で「景観」というキーワードを知り、「小戸」というキーワードをうまく使った発表が多く、まち歩きをすることで「小戸、宮崎らしい景観」についてみんなにわかりやすく話してくれました。

第3回「景観を考える」

10月12日(金) 5・6時間目

■「景観5・7・5」を作成してみる

まち歩きした際に撮影した写真やキーワードを復習して「景観5・7・5」を作成していきます。学校では写真を見て5・7・5を作る活動をしているので、アイデアがどんどん出てきます。



福添さんがみんなとまち歩きの復習

小戸っ子が一生懸命「景観5・7・5」を考え中・・・

■ 景観5・7・5を使って「景観カルタ」づくり

「景観5・7・5」を作成するにあたって、あ行チーム、か行チーム・・・ら行チームに分かれて作成してもらいました。

そうすることで「景観カルタ」が完成します。

今回はこの景観カルタに使用する景観5・7・5の優秀賞をみんなで確認して、建築士会の方々が最終選考しました。



視線の先には・・・木メダルが！！

■ みんなで「景観カルタ」の選考会

みんなそれぞれで作った「景観5・7・5」の選考会です。2列に並んで他のみんながどんな5・7・5を作ったか確認していきます。優秀賞の木メダルがもらえることでみんなも真剣に見て回りました。建築士会の方々も一生懸命、真剣に選考しました。



■ 優秀賞決定！！

優秀賞の2つが決定し、「木メダル」が授与されました。とっても良い作品でしたので、ここで紹介させていただきます。

- たくましい せんだんの木は とのさまだ (4年1組 川口すすかさん)
- さわざわと 木のトンネルが しゃべってる (4年2組 二宮杏奈さん)



■ 景観教室のみとめ

最後に福添さんにより、これまでのおさらいをしていただきました。そして、小戸小学校のみんなに景観教室の感想を書いてもらいました。みなさん、景観教室を終えて、小戸のまちがもっと好きになったようです。



★景観教室を終えて…皆さんの感想(一部を紹介します)

- ・私は転校してきたので、あまり小戸のことを知らなかったけど、景観教室のおかげで、小戸のことをたくさん知れたので良かったです。最後では、みんなと協力できたので良かったです。私は、宮崎の景観をもっと見ていきたいです。
- ・まち歩きはいろいろなものが見れて良かったです。また景観教室がやりたいです。すごくいい経験になりました。
- ・もう一回やれるなら、やりたいくらい楽しかったです。
- ・景観教室で学んだことがありました。一つ目は景観はどこにでもあっていつでも見れることです。その分、景観を大切にしないといけない事です。二つ目はいい景観を作っていくと、まわりも美しくなるという事です。私はまずまわりのゴミ拾いをして、美しい景観を少しずつ作っていきたいです。

■小戸小学校の皆さんへ

今回、小戸小学校4年生の景観教室に参加させて頂きました。また建築士会の中でもたまたま私が小戸小学校校区に居住している関係でリーダー的役割もさせて頂きました。まず学校へ打合せに伺った折、全く初めての部外者なのに生徒さん達の滂刺とした挨拶に元気を貰いました。その後、倉岡校長先生を始め学年担当の先生方から“フォト5・7・5”の話伺ったのですが、これは提示された1枚の写真に対し、ヒントなど何も与えずに生徒さん達の自由な感性でその写真から受けたイメージを5・7・5で詠み校内でミニコンテストを行うという内容でした。更にその作品も拝見しました。これが大人にはできない表現、発想の数々で何とも言えない良い気分になったのを覚えています。

またこのような活動を通じ生徒達の能力を引き上げて行く姿、方針に感銘を受けました。そこで今回の小戸小学校の景観教室では小戸地区で生徒達の感じた景観を“景観カルタ”と形式で詠んで貰うことを最終目的としました。景観についての講義、また地区内の良い景観を探るまち歩き等、これらを経て生徒一人一人による景観カルタ作成まで行き着いたのですが、出た作品が素晴らしい。感じ、伝えたいことを5・7・5という形式で表現しただけなのに、作品の中にはその景観以上のその場の空気や温度なども伝わるようなものもありました。“景観”ということ学習してもその言葉、イメージから受ける印象は年齢やその人の置かれた状況によって大きく異なります。

将来、小戸小学校の子供達が郷土・宮崎を大きな観点から見られる時に今回の景観教室が何らかの手助けになれば幸いです。最後に、今回の景観教室の開催にあたり、ご協力頂きました小戸小学校の先生方、市景観課の皆さまへ厚く感謝申し上げます。

ありがとうございました。

(社)宮崎県建築士会 宮崎市景観整備機構 福添 勝郎